



2019年7月10日

各 位

会 社 名 株式会社コシダカホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 腰 高 博  
 (コード番号：2157 東証第一部)  
 問合せ先 常 務 取 締 役 土 井 義 人  
 グループ管理担当  
 電 話 03-6403-5710

## 2019年8月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年10月11日に公表した2019年8月期（2018年9月1日～2019年8月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正（2018年9月1日～2019年8月31日）

	連結 売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 66,044	百万円 9,345	百万円 9,307	百万円 5,205	円 銭 64.01
今回修正予想（B）	66,124	9,804	10,212	6,071	74.66
増減額（B－A）	80	459	905	866	—
増減率（%）	0.1	4.9	9.7	16.6	—
（ご参考）前期連結実績 （2018年8月期実績）	61,771	7,858	8,207	4,426	54.44

#### 2. 修正の理由

カラオケセグメントにつきましては、駅前・繁華街を中心とした積極的な新規出店に加え、既存店につきましても店舗毎の収益性を重視して、リニューアルや増室だけでなく大胆なスクラップアンドビルドを実施いたしました。また、本年2月から全国展開を行った「まふ」（まねきねこフリータイム：大学生等を対象としたリーズナブルな価格でのフリータイム制度）や4月から展開した「まねきde家族割」（家族と一緒に来店された小中学生はルーム代無料）など各種集客施策が好評を得て多くのお客様から支持をいただいております。これにより、カラオケセグメントは売上高、各利益とも

期初計画及び前年度実績を上回る見込みとなっています。

また、カーブスセグメントにつきましては、今年度は「会員（顧客）満足度の向上」を最重要施策とし、会員数が大幅に増加しているクラブには近隣への出店（アメーバ型出店）を推進するなど、クラブにおける会員向けサービス強化を図っております。カーブスの認知度・マーケットシェアが高まった結果、会員数の伸びが従前に比べ鈍化しておりますが、一般的に運動意欲が高まる春夏に重点的に出店を進めているため、同セグメントの売上高及び各利益は期初計画を若干下回るものの、引き続き前年実績を上回る見込みとしております。また、新たな施策として各自治体や異業種企業とのコラボレーションによる会員獲得、新業態メンズカーブスの立ち上げ等に取り組んでおりますが、売上高への貢献は次期以降と考えております。

温浴部門、不動産管理部門につきましては、期初計画を若干下回る見込みではありますが、不動産管理部門において営業外収益が発生したことも経常利益の増加に寄与する見込みです。

以上の結果、連結業績では、売上高、営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益ともに、前回発表を上回る見込みとなりました。

なお、この度の通期連結業績予想の修正に伴う配当予想の変更はありません。

※上記の予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上